

鶴岡市西郷地区農林活性化センター



鶴岡市

庄内砂丘は、かつて農業に適さない不毛の地といわれていましたが、先人の努力により黒松の海岸砂防林やかんがい設備が整備され、今ではメロンや花きをはじめとする本市砂丘地農業の一大産地となっています。また、西郷地域が全国有数の砂丘地農業の地位を築くまでに、多くの傑出した指導者を輩出していることなど、他の地域に誇れる歴史や資源が数多くあります。

西郷地区農林活性化センターは、地域住民や関係機関と施設の機能や設備について協議を重ね、それら西郷地区固有の財産を活かした活力ある地域づくりの拠点として整備しました。

< 施設・設備 >

木造一部鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積1199.63㎡の施設となっています。

平成17年3月28日に地域再生計画として認定を受けました「つるおかの森再生構想」に基づき、建築資材に鶴岡産木材を積極的に活用しており、総木材使用量約515㎡に対して、鶴岡産木材が493㎡と95%以上を占めます。

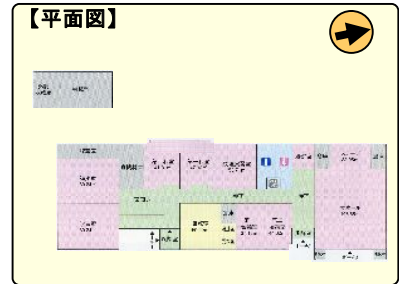
また、ペレットボイラーによる冷暖房システムや、太陽光発電、エコキュートによる給湯、雨水利用といった自然エネルギーを有効活用することで、自然環境に配慮した施設となっています。

< 機能 >

地区固有の財産である砂丘地農業や砂防松林等に関する資料の展示等、地域理解を醸成する学習・啓発機能や、地域間交流を促進する機能を付帯するとともに、地域コミュニティの拠点としての機能を有しています。

鶴岡市西郷地区農林活性化センター整備事業の概要

- 住 所 鶴岡市下川字龍花1番1
- 敷地面積 8,185.34 ㎡
- 延床面積 1,119.63 ㎡
(本館棟:1,109.979㎡、機械室棟:89.651㎡)
- 建築面積 1,461.22 ㎡
(本館棟:1,371.575㎡、機械室棟:89.651㎡)
- 構 造 本館棟 : 木造一部RC造平屋建て
機械室棟 : 木造平屋建て



【 建 築 】

- ・外部主仕上: 屋根 ガルバリウム鋼板 横葺き t=0.4mm
外壁 地場産杉羽目板 t=18mm 自然塗料3回塗り土壁コート仕上げ
- ・内部主仕上: 床) 複合フローリング、化学量
壁) 杉化粧羽目板貼り、珪藻土、ビニルクロス
天井) 化粧石膏ボード、ビニルクロス、杉羽目板貼り
- ・内部装飾 : 造作家具、既製家具、カーテン・ブラインド、移動間仕切り他

【 電気設備 】

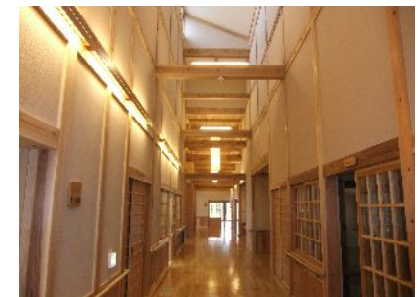
- ・受電方式: 低圧電灯、低圧動力
- ・照明設備・コンセント設備、電話設備、放送設備、TV共聴設備(地デジ対応)、自動火災報知設備、機械警備配管
- ・太陽光発電設備 19.8kw

【 機械設備 】

- ・給水設備: 上水~市水直圧
- ・排水: 汚水: 合併浄化槽(2.5人層)、雨水: 道路側溝放流
- ・冷暖房: ペレット焚冷温水発生機によるファンコイルユニット
- ・屋内消火栓

【 外 構 】

- ・駐車場: アスファルト舗装
- ・排水側溝、植栽



< 施工業者・事業費 >

設計・監理	23,100 千円	(総・木村建築設計JV)
新築工事	302,558.5千円	(菅睦建設㈱)
内、木材分	39,007.5千円	(出羽庄内森林組合)
電気設備工事	58,590 千円	(アベ電工㈱)
機械設備工事	73,500 千円	(山形空調㈱)
外構工事	34,020 千円	(北斗建設㈱)
解体工事	42,000 千円	(㈱佐藤組)
その他	7,388.7千円	
合 計	541,156.2千円	

< 鶴岡産材の利用状況 >

農林活性化センターの建設にあたっては、地域再生計画「つるおかの森再生構想」(H17.3.28認定)に基づき、建設用資材である鶴岡産木材を、建設工事とは別発注とし調達しております。

- ・総木材使用量 515.52 ㎡ (内、鶴岡産材493.11 ㎡)
- ・木材分発注分 275.20 ㎡ (内、鶴岡産材263.31 ㎡)